

「家庭クラブ・Sクラブ」だより 2013年9月9日



今年度も家庭クラブとSクラブは、家庭科の2人の先生が顧問です。家庭科の学習を生かした活動を取り入れて、地域との交流や奉仕活動に取り組んでいます。

<家庭クラブとは> 委員会活動

羽島高校では、1年生は科目「家庭基礎」、2年生は「家庭総合」を勉強しており、1・2年生全員が家庭クラブ会員として、家庭クラブに所属して活動に参加します。各クラス2名の家庭クラブ委員は会員の代表として活躍します。

家庭クラブ活動は、「愛情・勤労・奉仕・創造」の4つの精神に基づいて行っています。

<Sクラブとは> 部活動

「羽島高校Sクラブ」の「S」には、ソーシャル・サービス・スクールの3つの意味があり、部員は、ボランティア活動に関心があり、積極的に参加しようとする人が集まっています。

活動は、平成5年に国際ソロプチミスト羽島より認証をされ、そのご支援のもとに行っています。

<羽島高校のボランティア活動のはじまり>

はじまりは古く、昭和25年発足の家庭科を学ぶ生徒が会員である「家庭クラブ」による奉仕活動です。そのため、「家庭クラブ」と「Sクラブ」が協力して活動を行っています。

今年度4～8月までの主な活動を紹介します。

日にち	活動内容	参加者
5月が月2～3回 毎週火曜日 毎月15日	◎名鉄羽島市役所前駅の花立て活動 ◎講師の先生を招いて「手話講習会」 ◎「あいさつランドはしま」に参加	家庭クラブ委員 Sクラブ員 Sクラブ員
4月26日(金)	★PTA総会にてSクラブの部活動紹介	Sクラブ代表者
5月18日(土)	★「第3回高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」 前日の受付ボランティアスタッフとして参加	Sクラブ員
5月20日(月)	◎製菓講習会「パウンドケーキ」づくり	家庭クラブ員・Sクラブ員
5月31日(金)	◎家庭クラブ週間奉仕活動「校内外の清掃活動」	家庭クラブ員・Sクラブ員
6月7日(金)	◎花いっぱい運動：「藍」種まき、「パチュニア」苗植え	家庭クラブ員・Sクラブ員
6月9日(日)	★羽島高校吹奏楽部チャリティーコンサート 「緑の募金」の受付の手伝い	Sクラブ員
6月14日(金)	★「緑の募金」を事務局の方にお渡ししました。	吹奏楽部・Sクラブ代表者
6月21日(金)	★朝日新聞「ぶんか部物語」にSクラブ紹介記事掲載	Sクラブ
7月7日(日)	★街頭啓発活動に参加しました。	Sクラブ員
8月5日(月)	◎★竹鼻保育園訪問	家庭クラブ員、Sクラブ員
8月9日(金)	◎県連家庭クラブ代議員会・指導者講習会	家庭クラブ代表者

★印の活動は、[羽島高校のホームページ](#)をご覧ください。



◎名鉄羽島市役所前駅の花立て活動



◎花いっぱい運動
「藍」種まき、「パチュニア」苗植え



◎名鉄羽島市役所前駅へ
花のプランター贈呈

◎製菓講習会……「パウンドケーキ」作り

チョコチップとドライフルーツのパウンドケーキを作りました。できあがったケーキは、休日に花の水やりをしてもらっている吹奏楽部員と、家庭クラブ週間の奉仕活動に参加した家庭クラブ委員のみなさんに活動後の反省会の時に飲み物とともに食べてもらいました。



◎家庭クラブ週間奉仕活動「校内外の清掃活動」

羽島市役所前駅までの通学路のゴミ拾いと校内の中庭の落ち葉はき、側溝の泥あげなどの清掃を行いました。

<活動を終えた感想>

- この季節は花びらがたくさん落ちていて拾うのが大変でした。でも、改めてこの学校は木や花がたくさんあるなと思いました。木や花があるだけで手入れをしなければ汚くなってしまうので、掃除は大切だなと思いました。
- はじめて溝の土あげをしました。使い慣れない道具を使ったので大変でしたが、みんなで協力して頑張れました。
- 道路は、お菓子の袋やたばこの吸いガラ、ガムのごみあり、マナーの悪さが気になりました。
- きれいになって、みんなが過ごしやすいような環境になったと思います。
- ケーキは上手にできていて、冷たい飲み物も参加者のみなさんに喜んでもらえました。



◎竹鼻保育園訪問

年長の園児さんたちと交流会を行いました。白い木綿のきんちゃく袋に藍葉のたたき染めを行いました。

「藍とは」…タデ科の1年草。藍色の染料をとる植物として古くから栽培されている。

「藍葉のたたき染め」…一番簡単な生葉を使った染色方法

<染め方>

- ①藍の葉を摘む。(新鮮な葉がいい)
- ②テープで葉を貼り付ける。ポリ袋の中に入れる。
- ③木づちでポリ袋の上から、葉の部分をつたいて模様をつける。
*「手をたたかないようにね」。「手が疲れた…」
- ④たたき終わったら、葉とテープをはがす。
- ⑤洗剤液で洗ってから水洗いをして干す。
*葉の跡の緑色が変化してどんどん青色になる。
*園児さんたちは「色が変わった!」と大喜び



<交流を終えた感想>

- ひざをついて園児と目線を合わせることや、笑顔で話すことに気がつけました。私は少し緊張していましたが、園児たちから話しかけて来てくれて、こちらが笑顔になりました。園児がかわいかったです。保育士の仕事は大変ですが、やりがいがあるなと思いました。
- 木づちでたたき作業に疲れて嫌そうな顔をしていたけれど、最後まであきらめずにやっていた。
- 私の夢は保育士なので、この体験で保育士になりたいという夢がもっと大きくなりました。
- 今回の交流で自分の中にあった幼児に対する苦手意識を克服することができました。
- 初めはお互いに緊張してガチガチでしたが、帰るときの「またね-」という言葉がうれしかったです。(3年生だから) 今回の交流が最後だと思うとちょっと淋しいけれど、大切な思い出にしようと思います。

園児さんの完成作品



「誰かの顔かな？」

「何の花かな？」

「Aかな？タワーかな？」

「ウサギかな？」

校庭の花壇の「藍」

7月下旬になるとどんどん成長します。

